

## 観劇へのお誘い

収益事業委員会  
2018年5月28日

青葉の美しい季節、間もなく梅雨に入る頃となりました。  
収益事業委員会では5月の文楽、狂言の会と皆様方にご参加いただき感謝申し上げます。

さて、次は少々先のことになりますが、9月24日(月)に文楽、「良弁杉由来」の観劇を企画いたしました。

なにかとお忙しいとは存じますが、皆様のご予定にお入れいただき、多数のご参加をお待ちいたします。また、会員外の方も歓迎いたしますので、お誘いくださいますようお願い申し上げます。

### ☆ 文楽 国立小劇場

<明治150年記念>

- 会場 国立小劇場
- 日時 9月24日(月) 第一部 開演 午前11時
- 演目

\*南都2月堂 **良弁杉由来** (ろうべんすぎのゆらい)

- ・志賀の里の段      ・桜の宮物狂いの段
- ・東大寺の段      ・2月堂の段

近江の豪族の妻渚の方は愛児光丸の成長を楽しみに暮らしていたが、驚によって光丸が攫われ悲しみのあまり心を病んで諸国を放浪。30年の月日が過ぎ淀川に映る自分のやつれた姿に我に返った渚の方は、東大寺の良弁僧正の噂を耳にする。渚の方が身の上を書いた紙を僧正が日参する杉の大木に貼ると、僧正の目に止まり、自分にも思い当たる内容に証拠になる物がないかと問いかける。そこで渚の方が作った守り袋の仏像によって晴れて親子の名乗りをあげることが出来たという、長い間生き別れになっていた親子が再会出来た感動を情感深く演じる曲目である。

\*増補**忠臣蔵**一本蔵下屋敷一

- ・本蔵下屋敷の段

「忠臣蔵」九段目山科閑居の場で大星良之助を虚無僧姿の加古川本蔵が訪ねるまでの経緯を描いたもの。

- チケット代 1等 7,000円
- 定員 20名
- 申込み締切 7月25日 (定員に達し次第締め切り)

◎ お申し込み JAUW事務所 FAX 03-3358-2889 お問い合わせ 03-3358-2882